

3. 課題と取組方針

(1) 現況の課題と改善に向けた取組

発災時にBCP行動計画に基づき行動するための課題とその改善のために以下の通り取り組むこととする。

業務名	課題	改善方法	改善のための取組
診療提供能力の確認	避難を要する状況でなければ、外部からの患者受け入れは避けられない。どのような診療提供能力を持った状態での対応戦略になるか、特に院内からの情報を吸い上げ、まとめ、本部へ報告する仕組みを練り上げる。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療計画の整備（アクションカードを含む） ・災害訓練および事前セミナーにおける意識づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害訓練や災害対策本部や情報伝達をテーマとした事前セミナーの中で、診療提供能力に関する情報整理のあり方を整理する
災害時における院内体制整備	災害時の院内体制について事前に合理的な計画を立て、それを実施者(代行する可能性のある職員を含め)に徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的(年1回)に実施している災害医療計画の改定作業を、院内全体を巻き込む作業とする。 ・様々な想定 of 災害訓練を計画し、院内を挙げて真剣に取り組む。 	毎年、左記を実施する。
トリアージ(START, PAT)の実施	当院ではまだ一次、二次トリアージを的確に実施できる(準備、トリアージ補助を含め)レベルにはない。	<ul style="list-style-type: none"> ・一次、二次トリアージに関する災害医療計画の整備(アクションカードを含む) ・災害訓練ならびに事前セミナーで訓練をする。 	毎年、左記を実施する。
重症患者の搬送	地域に多数の重症傷病者が発生する場合には、病院対病院の紹介・転送ではなく、愛媛県災害医療コーディネータによる調整下に広域搬送が行われることになる。このあたり、当院職員には未経験であり、円滑な手順を踏めるかどうか懸念がある。	災害訓練や関連のセミナー(災害対策本部の活動訓練)を通じて手順を確認する。	同左

(2) 訓練・教育の取組

実際にライフラインの寸断を想定し、バックアップによる病院の一部の稼働や備蓄食料の調理を行い、緊急時の燃料不足や食料等の消費期限切れがないことを確認す

る。

業務名	課題	改善方法	改善のための取組
供給途絶時の食料確保	大津波を伴う南海トラフ巨大地震や原子力災害時（原発単独事故でも）には、当地域への食料搬送が行われなくなる可能性がある。食料節約、備蓄使用、地域内企業などの協力を得ることなどにより、患者と災害に対応する職員への食事の提供をはかる必要がある。	・食料に関する災害医療計画を様々なケースに分けて記載する。 ・机上訓練、シミュレーションにより、災害時の対応を仮想体験する。	同左

(3) BCP チェックリスト（厚生労働省）に基く要改善点

平成 28 年 1 月時点で、BCP チェックリスト（厚生労働省）に基き、当院の災害医療体制・防災設備等について見直した。当院の要改善点としては以下の項目が挙げられる。

大項目	評価基準	評価	対策
耐震・安全性診断（発災前）	耐震・安全性診断を受けているか？	○	新築のため、受けたのと同様（受ける必要無し）
応急危険度判定（発災後）	災害発生後に迅速に被災建築物応急危険度判定（発災後の耐震評価）をうけることが検討しているか？	—	大規模施設は対象外
転倒・転落の防止措置	医療機器や棚の転倒・転落物の防止措置について検討され、実施しているか？	△	建物工事完成後に機器設備等の転倒・転落防止処置をはかる
自家発電装置	自家発電装置があるか？	○	ある（→ 1,000kVA 1台）
	停電試験を定期的に行っているか？	○	年1回
	電力の供給量	○	新築後は通常使用量 800kVA を超える
	救急部門、エレベータ、CT 装置、災害対策本部	○	自家発電装置による電力供給あり
燃料	自家発電装置の備蓄燃料があるか？	○	現状3日分。
	燃料を優先的に供給を受けるための契約または協定があるか？	×	業者との契約書・協定書締結を目指す

受水槽	受水槽は設置されているか？	○	現状 98m ³ (通常使用の 0.9 日分)
	受水槽、配管には耐震対策措置が実施されているか？	○	免震継ぎ手
下水	下水配管には耐震対策措置が施されているか？	○	免震継ぎ手
	下水が使用不能で水洗トイレが使用できない場合のための計画はあるか(仮設トイレ、マンホールトイレ等)	×	新病院において実現させる
ガス	ガスの供給が停止した場合を想定して、プロパンガスポンベの備蓄はあるか？	○	備蓄量3, 960L
医療ガス	外部からの液体酸素の供給が途絶えたことを想定すると、どのくらいの酸素備蓄があるか？	○	現在の備蓄 4,014,000L。 津波に対する防潮設備が必要。
	院内の配管が損傷を受けた場合を想定して、酸素ポンベの備蓄はあるか？	○	現在の備蓄量 19,000L
	酸素ポンベを優先的に供給を受けるための契約または協定があるか？	×	業者と契約・協定をはかる
医薬品	医薬品の備蓄はあるか？	○	現在の備蓄 3 日分
	医療材料の備蓄はあるか？	○	現在の備蓄 3 日分
	医薬品が優先して供給されるための契約はあるか？	×	業者と契約・協定をはかる
	医療材料が優先して供給されるための契約はあるか？	×	業者と契約・協定をはかる
通信	外部固定アンテナを有する衛星携帯電話はあるか？	×	新病院においてアンテナ設置
エレベーター	自家発電装置に接続されているエレベーターはあるか？	○	2台

	エレベータ管理会社への連絡手段が 24 時間 365 日確立しているか？	○	
	エレベーター復旧の優先順位がついているか？	×	院内で協議する
	優先してエレベータ復旧が可能となるように、エレベータ管理会社と契約や協定を結んでいるか？	×	業者と契約・協定をはかる
緊急地震速報	緊急地震速報設備を有しているか？	×	免震構造のため導入しない
	緊急地震速報設備が館内放送と連動しているか？	×	免震構造のため導入しない
	緊急地震速報設備がエレベータと連動しているか？	×	免震構造のため導入しない
本部要員	緊急参集した職員や帰宅困難な職員のための休憩や仮眠が出来るスペースがあるか？	○	あり
	緊急参集した職員や帰宅困難な職員のための食料・飲料水の供給体制はあるか？	○	あり
参集基準・呼出体制	一斉メール等職員に緊急連絡を行う方法はあるか？	○	
	大災害時の参集可能職員の確保	△	他院職員との災害時協力体制、大津波時の通勤路整備が必要(市に依頼)
ボランティアの受入	医療ボランティアの受け入れ体制はあるか？	△	具体的計画が必要
	医療ボランティアの待機場所はあるか？	△	具体的計画が必要
	医療ボランティアの受け入れマニュアルはあるか？	△	具体的計画が必要
災害訓練	災害復旧や長期的な対応を検討するための机上シミュレーション等を実施しているか？	×	今後、様々なタイプの訓練を取り入れて行く、
マニュアルの存在	災害時の対応マニュアルはあるか？	○	

その他のマニュアルとの整合性等	火災時のマニュアル、地域防災計画との整合性はとれているか？	△	細部の不統一を是正要。原子力災害時の避難手段、避難先医療機関が未決定
-----------------	-------------------------------	---	------------------------------------

(4) 点検・是正の取組

訓練時において各部門により BCP の点検を行い、是正内容については部門横断的な策定組織において確認を行う。

(5) 見直しの取組

以下の変化があった場合には、改めて策定フローを実行し、BCP の見直しを行う。

- 想定地震被害の見直し
- 地域防災計画の見直し